

県道前橋箕郷線（国領町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元
の
声

- ・群大病院があるので災害時に電柱が道を塞がないようにしてほしい。（地元住民）
- ・歩行者の安全面を考えると電柱がない方がよい。（地元自治会）

電線を地中化して
電柱を撤去します

事業の概要

- 事業箇所：前橋市国領町～岩神町
- 事業内容：電線共同溝 延長 2,200m
- 事業期間：平成28年度～

- 現在の交通量：22,578台/日（自動車）
359人/12時間（歩行者）
767台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 地震や暴風時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱がなくなり、災害時でも安全な通行が確保されます。

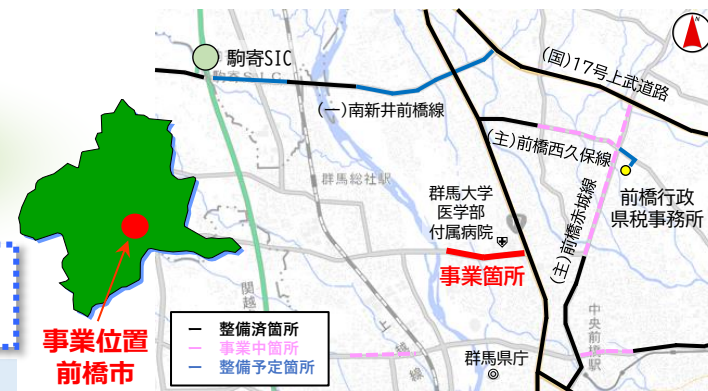


事業後のイメージ

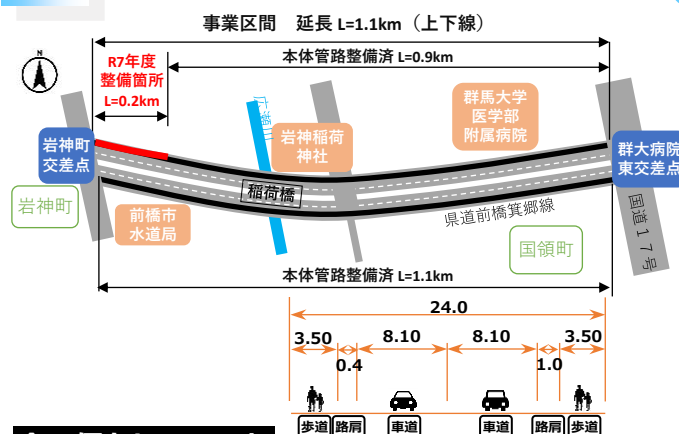
成果を示す項目	実施前
防災拠点間 （群馬大学附属病院～群馬県庁） の無電柱化率	62.07%
電柱倒壊のおそれ	あり



実施後（目標）
100%
なし



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、
電線共同溝の
本体管路工事を
実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了